

各地の野鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルスが 分離されています

| 場所 | 種名 | 確定日 | 亜型 |
|----------|-----------|-------|------|
| 島根県 安来市 | 渡り鳥糞便 | 11/13 | H5N8 |
| 千葉県 長生郡 | カモ類糞便 | 11/22 | H5N8 |
| 鳥取県 鳥取市 | カモ類糞便 | 11/27 | H5N8 |
| 鹿児島県 出水市 | 衰弱したマナヅル | 11/29 | H5N8 |
| 東京都 大田区 | 死亡したホシハジロ | 確定検査中 | |

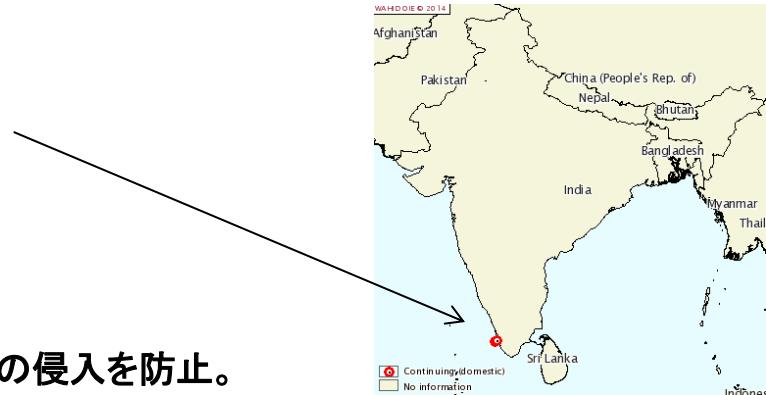
11月21日から、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが「対応レベル3」に引き上げられています。これに伴い県内でも対応レベル3に引き上げられました。

※具体的には、カルガモ等リスク種3の死亡野鳥について「10羽以上死亡していたら検査」から「5羽以上死亡していたら検査」に変更

海外でも、HPAIの発生報告が相次いでいる状況です

- ・インドでのH5N1亜型、ヨーロッパでのH5N8亜型(裏面)

発生日 2014年11月20日
動物種 あひる
発生件数 2
飼育羽数 241,807
発生羽数 15,500
死亡数 15,500
淘汰数 2,290



発生予防が大切です！

- 野鳥、野生動物などの鶏舎への侵入を防止。
- 農場・鶏舎の出入口での消毒の徹底。
- 関係者以外の農場への立入制限・発生国への渡航の自粛。
- 入退場する人や車両についての記録・消毒の徹底。

※過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡があった場合等、異状を発見した場合には、すぐに家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎 電話 0577-33-1111)まで連絡してください。

※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

欧洲における高病原性鳥インフルエンザ(H5N8) の発生状況(2014年以降)

2014年11月25日現在

ドイツ

(1件目)

発生日:2014年11月4日

動物種:七面鳥

(2件目:野鳥)

発生日:2014年11月17日

動物種:カモ科(鳥種不明)

オランダ

(1件目)

発生日:2014年11月14日

動物種:採卵鶏・種鶏

(2件目)

発生日:2014年11月19日

動物種:採卵鶏

(3件目)

発生日:2014年11月21日

動物種:種家きん

(4件目)

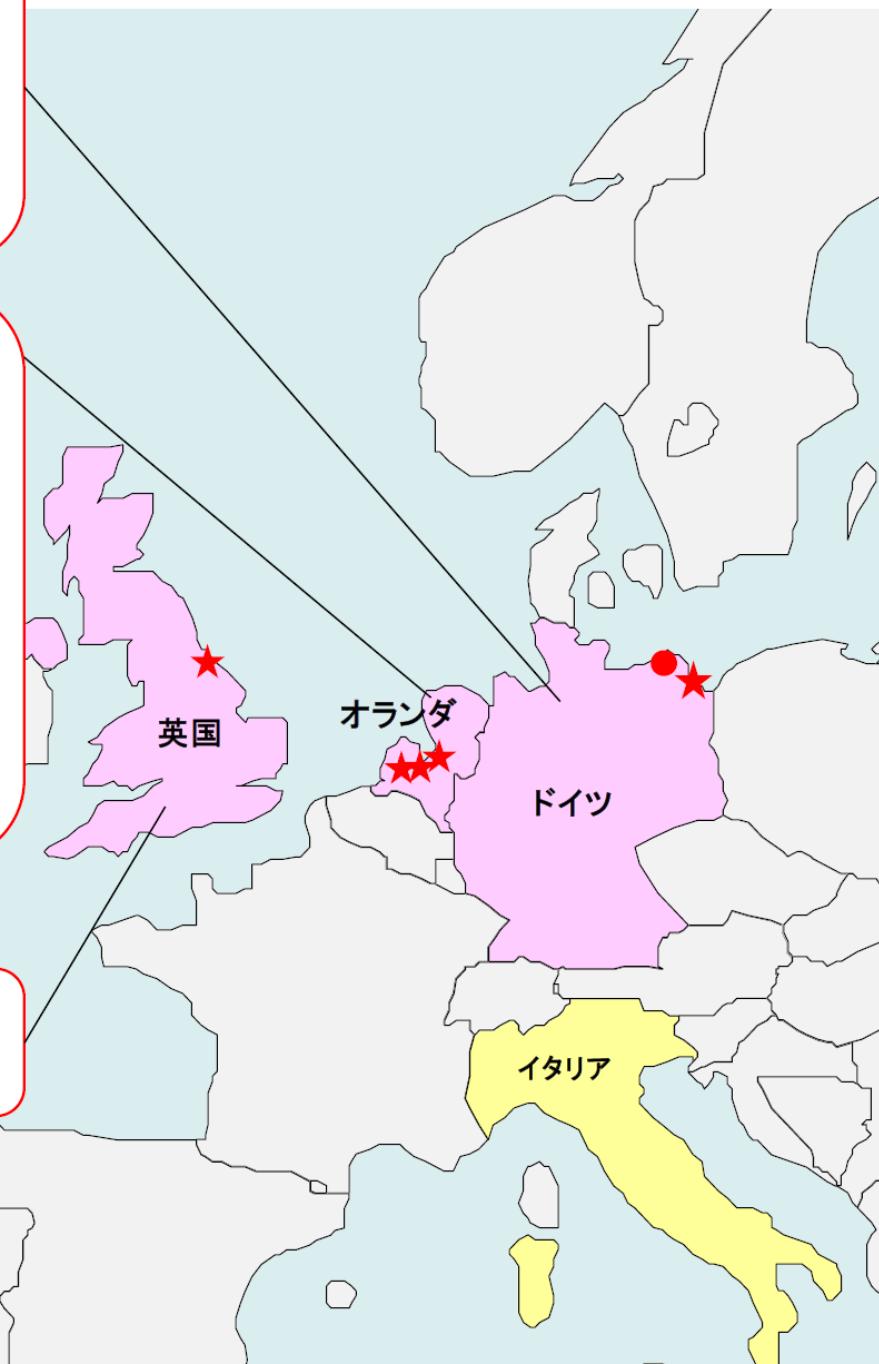
発生日:2014年11月21日

動物種:あひる

英国

発生日:2014年11月14日

動物種:繁殖用あひる



※低病原性鳥インフルエンザの発生

| | | |
|------|------------|------------|
| ドイツ | H5N1 | 2014. 3. 9 |
| | H5N2 | 2014.10.7 |
| オランダ | H5N1 | 2014.2.26 |
| | H5N2 | 2014.3.12 |
| イタリア | H5,H7,H7N1 | 2014 上半期 |

■ : 高病原性発生地域

■ : 低病原性発生地域

★ : 家きんの高病原性発生地点

● : 野鳥の高病原性検出地点

※ 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

出典:OIE等